

Numark

MIXTRACK PLATINUM FX

ユーザーガイド

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク



このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。



このマークは、適切な電圧で機器をしないと、感電の恐れがあるという警告です。



このマークは、ご利用出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、以下の使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を必ずお読みください。
2. 注意事項を必ずお守りください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むその他の音楽機器など、熱を生じる機器の近くには置かないで下さい。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに乗せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフターサービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 主電源プラグまたはアダプターをコンセントからいつでも抜ける状態にしておいてください。
17. 本装置をアンプに接続して、ヘッドホンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
18. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
19. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。



このマークのついた製品は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に、アダプタのアース線を接地してご使用ください。

inMusic Japan 株式会社 カスタマーサポート部

東京都港区南麻布 3-19-23 オーク南麻布ビルディング 6 階

[Web] numark.jp

[サポート] inmusicbrands.jp/support/

ユーザーガイド

はじめに

同梱品

MixTrack Platinum FX

ユーザーガイド/保証書

USB ケーブル

Software Download Card (英文)

製品サポート

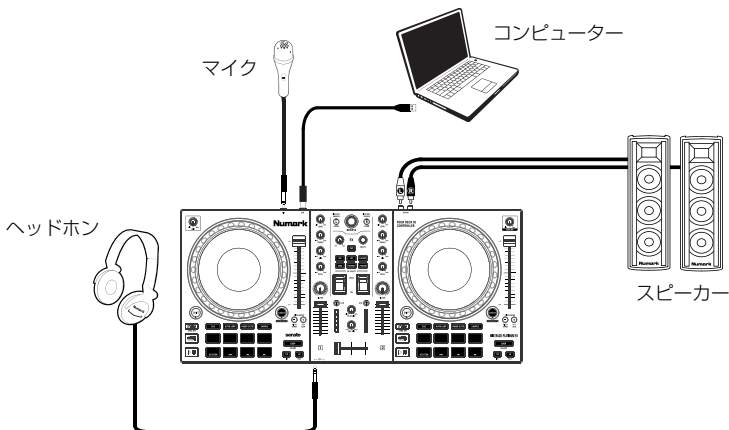
製品の最新情報 (システム要件、互換情報など) につきましては、numark.jp にアクセスしてご確認ください。また、修理やサポートにつきましては、inmusicbrands.jp/support/ をご参照ください。

セットアップ

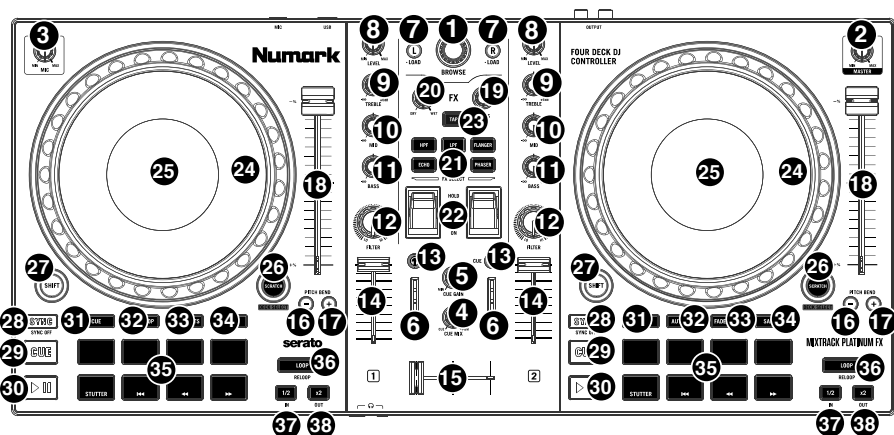
1. 本体を平らで安定した場所に置いてください。
2. すべてのデバイスの電源がオフになっていて、フェーダーやゲインが 0 になっていることを確認してください。
3. マイクを使用する場合は、本体の**マイク入力端子**にマイクを接続してください。
4. 本体の出力端子からパワーアンプやテープデッキ等のオーディオ装置へ接続してください。
5. すべての機器の電源をオンにし、付属の USB ケーブルで本体の **USB** ポートとコンピュータの USB ポートを接続してください。
6. 電源を入れる時は次の順番で電源をオンにしてください。
 - (1) コンピューター (2) アンプ・スピーカー、その他の機器
7. 同梱の Serato DJ Lite インストールカードに沿ってソフトウェアをダウンロードし、インストールします。
8. ソフトウェアを開き、トラックをデッキにロードします。
9. DJ をスタートしましょう！
10. 電源を切る時は次の順番で電源をオフにしてください。
 - (1) アンプ・スピーカー、その他の機器 (2) コンピューター

接続図

はじめに>同梱品にないものは別売です。



トップパネル



1. **BROWSE** : このノブを回してフォルダーとトラックを切り替えます。ノブを押してクレートとライブラリーを切り替えます。
SHIFT を押しながらノブを回すと、トラックとフォルダーをすばやくスクロールできます。
2. **MASTER ゲイン** : ソフトウェアのマスターボリュームを調整します。
注 : このコントロールは本体に接続しているマイクの音量には影響しません。
マイクの音量は **MIC ゲイン** で調整します。
3. **MIC ゲイン** : マイク入力のレベルを調整します。
4. **CUE MIX** : マスター出力とキュー出力のヘッドホンへの出力バランスを調整します。
5. **CUE GAIN** : ヘッドホン・キューへ送っている音量を調整します。
6. **マスター出力レベルメーター** : マスターに出力される音量を表示します。
7. **LOAD** : それぞれソフトウェアの Deck 1 または Deck 2 へ選択したトラックがアサインされます。
LOAD ボタンを素早く 2 回押すと両方のデッキに同じトラックがアサインされます。
8. **LEVEL** : 対応するチャンネルのプリフェーダー/プリ EQ オーディオレベルを調節します。
9. **TREBLE (HIGH EQ)** : 各チャンネルの高域周波数帯域を調整します。
10. **MID (MID EQ)** : 各チャンネルの中域周波数帯域を調整します。
11. **LOW (LOW EQ)** : 各チャンネルの低域周波数帯域を調整します。
12. **FILTER** : フィルターエフェクトを調整します。ノブを左に回すとローパスフィルターを、右に回すとハイパスフィルターをかけることができます。
13. **CUE/PFL** : ヘッドホンでのモニタリング用にプリフェーダー信号をキュー・チャンネルへ送ります。
14. **チャンネル・フェーダー** : 個々のチャンネルの音量を調節します。
15. **クロスフェーダー** : 2 つのデッキ間のミックスバランスを調整します。
16. **PITCH BEND -** : 押さえ続けることでトラックのスピードを一時的に下げます。また **SHIFT** ボタンを押しながらこのボタンを押すことでピッチレンジを変更できます。
17. **PITCH BEND +** : 押さえ続けることでトラックのスピードを一時的に上げます。また **SHIFT** ボタンを押しながらこのボタンを押すことで Keylock 機能のオン/オフを切り替えられます。
18. **ピッチフェーダー** : トラックの速さを調整します。「+」の方向に動かすと速くなり、「-」の方向に動かすと遅くなります。

19. **BEATS** : エフェクトのレート (速度) を調整します。タイムベースのエフェクトを使用する場合、このノブはタイム・ディビジョンを調整します。
20. **FX WET/DRY** : このノブを回して、エフェクトのウェット/ドライを調節します。
21. **ソフトウェア FX** : ソフトウェアのエフェクトを選択します。
 - HPF (ハイパスフィルター)
 - LPF (ローパスフィルター)
 - FLANGER (フランジャー)
 - ECHO (エコー)
 - REVERB (リバーブ)
 - PHASER (フェイザー)
22. **FX ON/OFF トグル** : トグルスイッチを押し上げると、FX をオンの位置にラッチ (ロック) します。押し下げると、FX が一時的にオンになります。トグルスイッチが中央の位置にある場合 FX はオフになります。
23. **TAP BPM** : このボタンを 4 回以上押して新しい BPM を設定します。ソフトウェアはトラックの BPM を無視し、手動で設定したテンポに従います。
SHIFT を押しながらこのボタンを押すと、テンポがトラックのデフォルトの BPM にリセットされます。
24. **ブラッター/ジョグホイール** : このタッチ・キャパシティブ・ジョグホイールに触ったり動かしたりすることで、オーディオをコントロールします。**SCRATCH** ボタンが非アクティブの場合、ジョグホイールでトラックのピッチを変化させることができます。**SCRATCH** ボタンがアクティブな場合はジョグホイールでオーディオを動かし、ヴァイナル・レコードと同じ方法でトラックをスクラッチすることができます。その際、タッチに反応しないホイールの外側部分に触れてトラックのピッチを変化させることができます。
SHIFT を押しながらホイールを動かすと、素早くオーディオのサーチを行なえます。
25. **ディスプレイ** : 現在のトラックに関する情報を表示します。詳しくは**機能>ディスプレイ**をご参照ください。
26. **SCRATCH** : ジョグホイールのスクラッチ機能をオンにします。
SHIFT を押しながらこのボタンを押して、ソフトウェアのどのレイヤーをハードウェアデッキでコントロールするかを選択します。デッキ 1 はレイヤー1 または 3、デッキ 2 はレイヤー2 または 4 をコントロールできます。
27. **SHIFT** : 他のボタンと一緒に押すことで、そのボタンのその他の機能が働きます。
28. **SYNC** : 対応するデッキのテンポともう一つのデッキのテンポが自動的にシンク (同期) します。
SHIFT を押しながらこのボタンを押すと、シンクが無効になります。
29. **CUE (トランスポート・コントロール)** : 現在再生中のトラックのキューポイントの設定、呼び出しができます。CUE ボタン長押しで、設定されたキューポイントから一時的に再生が開始されます。ボタンを押している間は再生され、手を放すと元のキューポイントの地点へ戻ります。
SHIFT + CUE で、再生ヘッドがトラックの先頭に戻ります。
30. **PLAY/PAUSE** : 再生の開始/一時停止を行ないます。
31. **CUE (HOT CUE)** : このパッドモードでは、各パッドにホットキューポイント (Hot Cue Point) を割り当て、そのホットキューポイントにトラックを戻します。点灯していないパッドをトラックの任意のポイントで押すことにより、ホットキューポイントを割り当てることができます。
32. **AUTO LOOP** : このパッドモードでは、各パッドで長さの異なるオート・ループをトリガーします。詳しくは**操作>パフォーマンス・パッド・モード**をご参照ください。
33. **FADER CUTS** : このパッドモードでは、上段の 4 つパフォーマンス・パッドを使用して、スクラッチ時のカットで使用するエフェクトを使用できます。詳しくは**操作>パフォーマンス・パッド・モード**をご参照ください。
34. **SAMPLER** : このパッドモードでは、各パッドでソフトウェアのサンプルをトリガーします。詳しくは**操作>パフォーマンス・パッド・モード**をご参照ください。

35. **パフォーマンス・パッド**：パッドの上段の列は、パッドモードの設定に応じてループポイントやサンプルをトリガーするために使用されます。詳しくは**操作>パフォーマンス・パッド・モード**をご参照ください。

下段の列のパッドでは STUTTER、PREVIOUS TRACK（前のトラックへの移動）、SEARCH BACKWARD（逆方向サーチ）、SEARCH FORWARD（順方向サーチ）を行ないます：

- **STUTTER**：パッドを繰り返しタップしてサンプルをリピートしたりスタッターを実行します。
 - **PREVIOUS TRACK**：前のトラックに戻ります。
 - **SEARCH BACKWARD**：現在のトラックを逆方向にサーチします。
 - **SEARCH FORWARD**：現在のトラックを順方向にサーチします。
36. **LOOP ON/OFF**：オートループのオン/オフを行ないます。**SHIFT** を押しながらこのボタンを押すと、リループが行われます。
37. **LOOP 1/2**：ループがアクティブなときにこのボタンを押すと、ループの長さが半分になります。**SHIFT** を押しながらこのボタンを押すと、ループイン・ポイントの設定ができます。
38. **LOOP x2**：ループがアクティブなときにこのボタンを押すと、ループの長さが 2 倍になります。**SHIFT** キーを押しながらこのボタンを押すと、ループアウト・ポイントの設定ができます。

フロントパネル

1. **ヘッドホン出力**：ヘッドホンを接続するステレオ 1/4 インチまたは 1/8 インチ (3.5mm) 端子です。ヘッドホンのボリュームは **CUE GAIN** ノブを使って調整します。



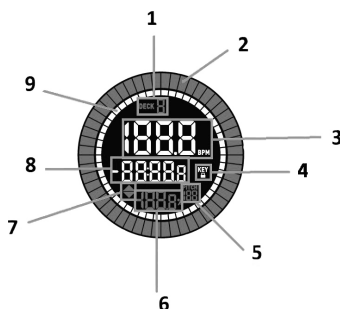
リアパネル

1. **マスター出力端子 (RCA)**：標準の RCA ケーブルを使用し、出力するスピーカやアンプシステムと接続します。
2. **USB ポート**：ソフトウェアの様々なパラメーターをコントロールするための USB MIDI データを送信します。
3. **マイク入力端子**：ダイナミックマイクをこの 1/4 インチ (6.35 mm) 端子に接続します。



ディスプレイ

1. **アクティブ・デッキ**：現在アクティブになっているデッキを示します。
2. **プッシャー・ポジション**：現在のトラック位置を表示します。
3. **BPM**：選択したトラックの現在の BPM が表示されます。
4. **キーロック**：キーロックがアクティブなときにアイコンが点灯します。
5. **ピッチレンジ**：現在のピッチレンジを表示します。
6. **ピッチ**：現在のトラックのピッチを表示します。
7. **ピッチアジャスト**：両デッキの BPM を一致させる際のピッチフェーダーを移動する方向を示します。
8. **残り時間**：現在のトラックの経過時間または残り時間を表示します。
9. **タイムバー**：選択した曲の残り時間を視覚的に表示します。曲が終わりに近づくと、点滅してそれを知らせます。



操作

パフォーマンス・パッド・モード

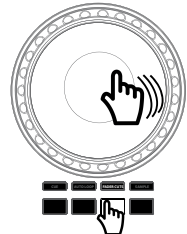
パッドの上段の列はモード (キュー (CUE)、オートループ・モード (AUTO LOOP)、フェーダー・カット (FADER CUTS)、サンプル・モード (SAMPLE)) により機能が変化します。パッドモードボタンのどれか 1 つを押してモードを選択し、上段の列のパッドを押して機能を使用します。

キュー・モード (CUE MODE) : CUEパッド (30番) を押します。点灯したパッド (上段) で設定したホットキュー・ポイントにトラックを戻します。消灯しているパッド (上段) を押して、トラック内の希望のポイントにホットキュー・ポイントを割り当てます。

オートループ・モード (AUTO LOOP MODE) : AUTO LOOP パッドを押して、上段の 4 つのパッドに以下の機能を割り当てます :

- **AUTO 1 :** 1 拍のオートループの設定および再生を行ないます。SHIFT + AUTO 1 で 1/16 ビートのループツールの設定と再生を行ないます。
- **AUTO 2 :** 2 拍のオートループの設定および再生を行ないます。SHIFT + AUTO 2 で 1/8 ビートのループツールの設定と再生を行ないます。
- **AUTO 4 :** 4 拍のオートループの設定および再生を行ないます。SHIFT + AUTO 4 で 1/4 ビートのループツールの設定と再生を行ないます。
- **AUTO 8 :** 8 拍のオートループの設定および再生を行ないます。SHIFT + AUTO 8 で 1/2 ビートのループツールの設定と再生を行ないます。

フェーダー・カット (FADER CUTS) : デッキのオーディオ信号のミュート/ミュート解除を行ないます。クロスフェーダーの動きをエミュレートします。



サンプル・モード (SAMPLE MODE) : SAMPLER パッドを押し、上段の 4 つのパッドにサンプルを割り当て、再生します。SHIFT を押しながら上の 4 つのパッドのいずれかを押すと再生が停止します。スロットが空の場合はサンプルをロードします。

付録

技術仕様

出力	RCA ステレオペア x1 1/4 インチ (6.35 mm) TRS x1 1/8 インチ (3.5 mm) TRS x1
入力	1/4 インチ (6.35 mm) TS x1
電源	USB バスパワー
Audio	44.1 kHz, 24-bit
サイズ (W x D x H)	536 x 246 x 51 mm
重量	2.4 kg

仕様は断りなく変更になる場合がございます。予めご了承ください。

商標及びライセンス

Numark は inMusic Brands, Inc. の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。その他すべての製品名あるいは会社名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

無料修理規定

- 保証期間内に故障して、無料修理をご依頼の場合は、お買上げの販売店にご依頼の上、本書をご提示ください。
- ご贈答品などで本書に記入してあるお買上げ販売店に修理がご依頼できない場合には弊社カスタマーサポート部へご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) ご使用上の誤り、及び不当の修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買上げ後の取付け場所の移動、落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
 - (ニ) 消耗部品を取替える場合。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にご愛用者名、お買上げ日、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- inMusic Japan は、製品の使用不可能または不具合に基づく損害、また法律の定める範囲内での人身傷害を含める、いかなる二次的、及び間接的な損害賠償の責任を負いません。保証条件や本保証に基づき inMusic Japan が負う責任は、販売国の国内でのみ有効です。本保証で定められた修理は、inMusic Japan でのみ行われるものとします。
- オークションなどを含む中古販売品・個人売買品・未開封品の二次販売等は、本保証の対象外となります。

* この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後についてご不明の場合は、お買上げの販売店または弊社カスタマーサポートへご相談ください。

保証書	
製品名：	
製品番号：	
ご購入日：	
保証期間： ご購入日から一年間	
お客様	販売店
お名前：	販売店名：
ご住所：	ご住所：
お電話：	お電話：

inMusic Japan 株式会社 カスタマーサポート
〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23 オーク南麻布ビルディング6F
お問い合わせ：inmusicbrands.jp/support/

- 本書に記入のない場合は、有効となりませんので、直ちに買い上げの販売店にお申し出ください。
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。